

## 第2次再生計画各分野の主な事業について

## 《健康・福祉》

第1次再生計画からの主な課題	第2次再生計画での対応事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康意識を高めるための取り組みを充実しつつ、がんを含む生活習慣病等の予防となる各種健(検)診を受診する必要性の認識の向上</li> <li>●かかりつけ医を持ち、定期的に受診することが疾病の早期発見、早期治療につながることを受診勧奨と、健(検)診が受けやすい環境整備の推進</li> </ul>	<p>○1-1-1 健康づくり、基本事業③健康診査事業、「健(検)診の目的や必要性について広く周知・啓発していくとともに、健(検)診を受けやすい環境整備に努めます。」</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●2025（平成37）年を視野に入れた救急医療を含む急性期、回復期、慢性期医療の機能分化と病病連携・病診連携の推進</li> </ul>	<p>○1-1-2 医療、基本事業⑥上野総合市民病院事業、「一次・二次・三次の一貫した医療体制で、安心して信頼できる医療が提供できるよう努めます。」</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●今後の地域医療の充実には、在宅医療、介護や福祉との連携が必要不可欠であるため、地域包括ケアシステムの構築に向けた多職種連携の取り組み</li> </ul>	<p>○1-1-2 医療、基本事業②在宅医療の促進、「医師・看護師・薬剤師・ケアマネジャー等の専門職種が連携した支援のしくみづくりを進めます。」</p> <p>○1-2-1 福祉総合相談、基本事業①福祉総合相談、「地域ケア会議への医療職種の参画を推進するために、「保健・医療・福祉の連携検討会」や多職種事例検討会等の機会を利用して、啓発を行います。」</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育てに関するニーズを的確に把握し、適切な情報発信を含めて子育てしやすい環境づくりを行政の責務として着実に実施することによって、「伊賀市は子育てしやすいまち」だと実感してもらおうとともに、途切れのない子育て支援を十分に認識した施策の展開</li> </ul>	<p>○1-3-1 子育て、基本事業①子育て相談支援事業、「支援を必要とする人の相談を受け、適切な支援につなげていきます。」</p> <p>○基本事業②子育て支援対策事業、「児童手当等を支給するとともに、放課後児童クラブ・保育所（園）・幼稚園を運営することにより、仕事と子育てを両立できる支援体制を整えていきます。こんにちは赤ちゃん訪問や乳幼児相談、各種教室等を通じて子育てへの支援を実施していきます。また、子ども医療費等の助成を行うことで、安心して医療が受けられる体制を整えていきます。」</p>

## 《生活環境》

第 1 次再生計画からの主な課題	第 2 次再生計画での対応事業
<p>●異常気象と言われるような甚大な被害をもたらす自然災害に対応できるよう 2016（平成 28）年度中に「伊賀市地域防災計画（風水害編）」の見直しを行い、「自助」「共助」「公助」の取り組みをより強化し、日頃から減災をめざした災害に強いまちづくりの推進</p>	<p>○2-1-1 危機管理、基本事業①災害時の要配慮者（援護者）の支援、「伊賀市災害時要援護者避難支援プラン」に基づき、災害時要援護者名簿を作成し避難訓練等に活用することで、災害時の避難支援が必要となる人（要配慮者）に対する支援体制の充実に努めます。」</p> <p>○基本事業②自主防災組織活性化促進事業、「自主防災組織の結成時の防災資機材の貸与や、平常時の訓練等の活動経費を補助することで、組織の活性化を促進し、共助体制の強化を行うことが地域の防災力の向上により減災の効果につながります。」</p> <p>○基本事業⑤河川維持・改修事業、「川の水質や水生生物の生態系にも配慮しながら集落にかかる緊急性の高い箇所から河川浚渫を進めます。また内水排水用のポンプについては緊急時に適切に運用できるように平常時の維持管理を確実にを行い、人びとの暮らしに密接なかかわりを持つ河川空間の保全・整備を図ります。」</p>
<p>●河川環境基準の 100%達成とその水質改善の維持、「伊賀市地球温暖化対策実行計画」に基づく温室効果ガスの削減、及び市民と行政との協働による不法投棄物の処理、防止や啓発</p>	<p>○2-2-1 環境保全、基本事業②環境保全意識の高揚・啓発、「市内河川 18 地点の水質調査を継続して実施することで、水質の状況を把握します。」</p> <p>○基本事業①地球温暖化防止に向けた取り組みの推進、「大規模施設における省エネルギーの推進、環境負荷の少ない公用車導入、日常業務における取り組みを推進します。」</p> <p>○基本事業③不法投棄をさせない、されない体制づくり、「市民と行政が協働して不法投棄物の処理にあたるとともに、各地域の要望により必要な場所に監視カメラの設置を行い、不法投棄をさせない監視体制に努めます。」</p>
<p>●（廃棄物の収集・処理対策として、）さらなるごみの減量及び資源のリサイクルを推進するため、広報紙や出前講座による 4 R の推進</p>	<p>○2-3-1 一般廃棄物、基本事業②分別を徹底して資源化の推進と効率性の向上、「ごみの分別を適正に行うことによって、資源化が可能なものを極力資源化するとともに、不適切なものの再分別等にかかる費用・労力を減らします。」</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>●伊賀南部地域（名張市、伊賀市青山地区）との広域化処理によるごみ処理施設建設に向けての取り組み</li> </ul>	<p>○2-3-1 一般廃棄物、基本事業①ごみ処理施設コストの軽減、「RDF（ごみ固形燃料）化処理からの脱退の決定を判断するとともに、新しい処理施設ができるまでの間、民間委託への移行を行っていき、ごみ処理コストの軽減をめざします。」</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●水需要の減少が予想されることから、将来に向け安定した水道水の供給と持続的な事業運営の推進</li> </ul>	<p>○2-3-2 上下水道、基本事業①水道事業、「水道事業基本計画を基に、経年化の避けられない水道施設や水道管等の維持、更新や耐震補強、また効率化のための施設統合を計画的に行います。」</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●伊賀市生活排水処理施設整備計画に基づく、下水道全体計画の策定及び公共下水道事業の着手</li> </ul>	<p>○2-3-2 上下水道、基本事業②下水道事業、「それぞれの地域特性に対応した整備手法（伊賀市生活排水処理施設整備計画）により整備を進めます。」</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●共通・類似業務の統合による経営コストの削減、施設の維持・更新にかかる資産管理（アセットマネジメント）手法の導入</li> <li>●上下水道窓口等の一本化による市民サービスの向上</li> </ul>	<p>○2-3-2 上下水道、基本事業②下水道事業、「経営面では、下水道事業についても平成 29 年度から地方公営企業法の適用を受け、上下水道事業の経営基盤の強化を図ります。」</p>

## 《産業・交流》

第 1 次再生計画からの主な課題	第 2 次再生計画での対応事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内の観光客の受け入れ態勢の整備</li> <li>●農商工連携、物産振興などをさらに進め、持続可能な地域産業振興のため、まずは産業として自立できるよう関係機関が一体となった支援</li> </ul>	<p>○3-1-1 観光、基本事業①地域ぐるみの観光誘客と情報発信、「伊賀市の多様な観光資源と伝統と革新が融合する物産を、さまざまなツールを用いて情報発信し、観光誘客活動を行います。」</p> <p>○基本事業②地域全体で観光客を受け入れる体制づくり、「事業者や各種団体、市民と連携し、市内の観光資源を活かした観光商品づくりを行い、地域全体で観光客を受け入れる態勢づくりを行います。」</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●若者の地元雇用やUJIターンなど就業支援体制の強化</li> <li>●就業機会確保のため一定規模のまとまった産業用地確保の推進</li> </ul>	<p>○3-5-1 雇用・就業、基本事業③人材育成等の促進、「地元での就職を希望する学生や求職者に対し、市内企業との情報交換の場として「合同就職セミナー」を開催します。」</p> <p>○3-4-1 産業立地、基本事業①企業立地促進事業、「民間遊休地等への企業誘致を推進するとともに、既存産業の活性化を促進します。」</p>

## 《生活基盤》

第 1 次再生計画からの主な課題	第 2 次再生計画での対応事業
<p>●伊賀市の地域事情に適した多核連携型の都市構成をめざし制定を予定している「(仮称)伊賀市の適正な土地利用に関する条例」で措置できるよう、国・県との協議促進及び、さらなる市民周知の推進</p>	<p>○4-1-1 都市政策、基本事業①土地利用管理制度の推進、「上野・伊賀・阿山・青山の4つの異なる都市計画区域を統合し、一つの都市計画区域として設定するとともに、全市統一した土地利用管理手法について、制度設計を進めます。」</p>
<p>●安心して公園施設が利用できるような、公園管理の実施</p>	<p>○4-1-1 都市政策、基本事業②都市施設整備、「重点的・効率的な維持管理と公園施設長寿命化計画に基づき施設の更新を行います。」</p>
<p>●景観計画に基づく、景観まちづくりの推進</p>	<p>○4-1-1 都市政策、基本事業③良好な景観形成の促進、「自然風景や城下町の伝統・風格を活かした魅力ある景観形成をめざします。」</p>
<p>●伊賀市耐震改修促進計画に基づく自発的な耐震化の促進</p>	<p>○4-1-2 住環境整備、基本事業①木造住宅の耐震化促進事業、「新耐震基準導入以前の既存建築物、特に倒壊の危険性の高い木造住宅の耐震診断や補強に対する支援を図ります。」</p>
<p>●多くの市営住宅では老朽化が進んでいるため、伊賀市公営住宅等長寿命化計画に基づく、今後の建替・改善事業の推進</p>	<p>○4-1-2 住環境整備、基本事業②市営住宅の建替・改善事業、「国の交付金事業を活用した建替・改善事業による推進、民間の技術力・資金力・経営能力を活かしたPFI事業の推進など、市営住宅事業全体のマネジメントの強化を図ります。」</p>
<p>●引続き効率的な舗装修繕や橋梁修繕の実施による、道路利用者の安全かつ円滑な交通の確保</p> <p>●幹線道路や生活道路の整備</p>	<p>○4-2-1 道路、基本事業①道路改良事業、「限られた予算の中で工事コスト縮減に努め、重要度や優先順位を的確に判断し、住民のニーズとのバランスをとりながら道路整備の進捗を図ります。」</p> <p>○基本事業②橋梁維持修繕事業、「橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁点検等を実施し、緊急を要する損傷、劣化等が見受けられる橋を重点的に修繕し、コスト縮減及び安全・安心な道路空間の整備を図ります。」</p>
<p>●伊賀市が運行を委託する廃止代替バスや行政サービス巡回車の、利用者ニーズを踏まえた運行改善等</p>	<p>○4-2-2 公共交通、基本事業①地域バス交通確保維持事業、「本市が自主運行するバス事業については、利用実態やニーズに合わせた運行ダイヤやルートとするなど効率的な運行を図ります。」</p>

<p>●伊賀線の活性化及び再生、関西本線の近代化整備など、将来の伊賀市のまちづくりに欠かせないインフラとして、市民や自治組織、企業、各種団体等がそれぞれの役割を認識し、維持存続や利用促進に向けた、連携した取り組み</p>	<p>○4-2-2 公共交通、基本事業②鉄道網整備促進事業、「幹線鉄道としての機能向上をめざし、関係自治体や整備促進団体、鉄道事業者等と連携しながら取り組みます。」</p> <p>○基本事業③伊賀線活性化促進事業、「観光施策や土地利用施策など伊賀線を市のまちづくり施策の中で活かす取り組み、四十九町地内への新駅整備、関連する他の鉄道路線やバス路線とのネットワーク形成と機能強化などによる需要創出や利用促進を図ります。また、市民や地域の各主体と連携し、伊賀線を守り育てるマイルール意識の醸成を図ります。」</p>
--	---

## 《教育・人権》

第1次再生計画からの主な課題	第2次再生計画での対応事業
<p>●社会の中で差別をなくし、互いの人権が尊重されるまちづくりを進めるため、今後も継続して企業や地域の住民自治協議会等を通じての、研修会参加の促進、啓発の手法の見直し等による、若者から高齢者までの幅広い年齢層への啓発</p>	<p>○5-1-1 人権尊重・非核平和、基本事業①人権啓発の推進、「人権講演会や人権フェスティバル、人権問題地区懇談会など、あらゆる場、あらゆる機会を通じて人権啓発活動や人権教育を推進します。」</p>
<p>●女性が職業生活等で力を発揮できるよう、仕事と家庭生活等を両立するための支援</p>	<p>○5-2-1 男女共同参画、基本事業③ワーク・ライフ・バランスの推進、「仕事と生活の両立支援に係る制度の定着及び利用促進を、企業訪問やセミナー開催により働きかけます。」</p>
<p>●施策、方針決定の場では、男性優遇観が根深く残っているため、理解促進のための講座開催等を通じて女性のエンパワーメントや女性の参画を受け入れる環境づくり</p>	<p>○5-2-1 男女共同参画、基本事業①男女の参画拡大、「政策・方針決定過程への女性登用・参画を促進するとともに、職業生活における女性の活躍促進や地域社会での男女共同参画について啓発に努めます。」</p>
<p>●家庭、地域とも連携しながら、児童・生徒の確かな学力の定着に向けた取り組み</p>	<p>○5-3-1 学校教育、基本事業②学力向上等推進事業、「確かな学力の形成を図り、子どもたちの進路保障に努めます。伊賀市学力向上プロジェクト委員会機能の強化、教職員研修体制の充実、教育アドバイザーの派遣を行うことで、教師の授業力や児童生徒の学習意欲の向上に努めます。「家庭学習・読書の手引き」を活用し、保護者と連携して、学力向上の取り組みを推進します。」</p>

<p>●新しい小学校給食センターの建設推進など、適正な学校規模や、安全・安心で快適な学校環境の整備</p>	<p>○5-3-2 学校環境、基本事業③給食センター運営管理・建設事業、「小学校給食の基本方針に基づき新給食センターの建設を民間資本の活用を前提に進めます。」</p> <p>○基本事業①学区区再編事業、「小学校については、上野北部地区、上野南部地区、阿山地区の統合を進めるとともに、中学校についても統合に向けた検討を進めます。」</p>
<p>●子どもの頃からの郷土教育や主権者教育、社会人となってからも互助・共助の姿勢や地域づくりを学ぶ生涯学習機会の充実や、多年代が交流できる新しい図書館の整備</p>	<p>○5-4-1 生涯学習、基本事業①生涯学習推進事業、「市民の学習意欲・社会参画に応じた学習・参画の機会を提供します。」</p> <p>○基本事業②図書館活動推進事業、「図書館を利用したイベントなどを企画し、市民のニーズを的確に把握しながら、新しい図書館の整備・充実に向けた市民意識の向上を図り、その実現を目指します。」</p>

### 《文化・地域づくり》

第1次再生計画からの主な課題	第2次再生計画での対応事業
<p>●活動参加者（市民美術展覧会や市民文化祭）に世代や地域の隔りがあることなどから、実施方法改善の取り組み</p>	<p>○6-2-1 文化・芸術、基本事業①文化・芸術振興事業、「社会の充実、市民美術展覧会や市民文化祭の運営を行い、市民の文化・芸術意識の向上を図ります。」</p>
<p>●芭蕉翁生誕地（芭蕉翁を核とした地域づくりの継承など）としての認知や顕彰への取り組みに対する情報発信の促進</p>	<p>○6-2-1 文化・芸術、基本事業③芭蕉翁顕彰事業、「芭蕉翁の顕彰と、芭蕉文学と俳句文芸の調査研究・継承・啓発を行うとともに、俳句の文化的価値を世界へ発信する取り組みを進めます。芭蕉翁の生誕地として、市民に親しまれ、まちづくりにつながる事業や芭蕉翁記念館の運営を行います。また、人づくり・地域づくりにつながる新芭蕉翁記念館の整備・充実を進めます。」</p>
<p>●多様なニーズに応えるため、各種スポーツ大会の充実、スポーツ推進委員による地域スポーツ活動などを通じた、市民が参加しやすい体制づくり</p>	<p>○6-2-3 スポーツ、基本事業④スポーツ振興事業、「スポーツ推進委員活動やスポーツ組織・団体活動の支援を行います。また、種目別の競技スポーツ活動を奨励するとともに、市民参加型スポーツイベントの開催や魅せるスポーツ活動への支援を行います。」</p>
<p>●市内に複数あるスポーツ施設については、公共施設最適化方針に基づく、機能分類ごとに今後のあり方を引き続き検討する必要があります。</p>	<p>○6-2-3 スポーツ、基本事業②スポーツ施設整備・維持管理事業、「公共施設最適化計画に基づき、持続可能なスポーツ施設整備を計画的に行います。」</p>

<p>●自治センター化の体制づくりに向けて、地域の活性化を進めるために住民自治協議会が主体的に活動することや住民自治協議会の必要性などを理解できるような取り組み及び、具体的な検討の推進</p>	<p>○6-4-1 住民自治、基本事業①住民自治促進事業、「行政の地域窓口としている地区市民センターについては、住民自治活動拠点となる自治センターとして、指定管理者制度の導入をめざします。」</p>
--	---

《計画の推進》

<p>第1次再生計画からの主な課題</p>	<p>第2次再生計画での対応事業</p>
<p>●計画の推進全体について、第1次再生計画ではK P I（重要業績評価指標）の設定がなかったことによる、単年度の進捗が図れなかったことから、第1次再生計画の最終年度にあたる2016（平成28）年度に可能な限りK P Iを設定し、第2次再生計画ではすべての施策へのK P I設定</p>	<p>○7-2-5 進行管理・行政マネジメント、基本事業①行政総合マネジメントサイクルの推進、「マネジメントシステムは、市の行政経営方針に基づいた政策・施策を効果的・効率的に進めるためのしくみとして、行政経営協議の実施やPDCAの一環として行政評価を行います。」</p> <p>○計画の推進各施策ごとにK P Iを設定します。</p>
<p>●限られた資源（財源や職員、耐用年数の迫った施設など）で行政サービスを維持していきながら、少子化対策、定住促進などの新たな行政需要に対する取り組み</p>	<p>○7-2-2 組織・人事、基本事業②行政組織（機構）の見直し、「市の政策・施策が効率的に推進できるよう、新庁舎整備後も視野に入れて、適正な組織機構の改編を行います。」</p> <p>○7-2-1 財政運営、基本事業②公有資産の有効活用、「公共施設最適化計画に基づく第1期実行計画を推進し、施設の最適な配置と管理運営に努めます。」</p>
<p>●市全体で危機感を共有しながらさらなる行財政改革を推進し、伊賀市の身の丈に合った行政サービスを提供することで、将来にわたって持続可能なまちづくりの推進</p>	<p>○7-2-1 財政運営、基本事業①持続可能な行財政運営の推進、「一般財源の規模に見合う適正な歳出規模を堅持し、簡素で効率的な財政運営をめざして、市債発行の抑制に配慮した予算編成に努めるなど、財政運営の改革に取り組めます。」</p>